

ゴー・ミン・トゥイ・ベトナム元日本留学生協会会長・ハノイ国家大学外国語大学副学長

勝 恵美 モアプロダクションベトナム代表

令和元年度外務大臣表彰伝達式挨拶

(2019年10月11日(金) 18:00~/大使公邸)

御参列の皆様、

●本年7月、ゴー・ミン・トゥイ・ベトナム元日本留学生協会会長・ハノイ国家大学外国語大学副学長、及び勝 恵美(かつ・めぐみ)モアプロダクションベトナム代表に対する「令和元年」外務大臣表彰が決定されました。日本政府を代表し、お二人に心からお祝いを申し上げます。

本日、ハノイの地において、ご家族、ご友人・関係者の皆様とともに、お二人に対する外務大臣表彰伝達式を行えることは非常に光栄です。

先ず、お二人の大きな功績について説明させていただきます。

表彰伝達理由・功績(ゴー・ミン・トゥイ先生)

●ゴー・ミン・トゥイ先生には、3つの大きな功績があります。

●第一の功績は、ベトナムにおける日本語教育への貢献です。

●トゥイ先生は、2001年筑波大学を修了後、ベトナムを代表する日本語教育研究者として活躍されています。

ハノイ国家大学外国語大学では、中核となって、日本語教師の養成課程、日本学の修士課程、付属高校の日本語教育課程等、ベトナムにおける初めての質の高い日本語教育プログラムを次々と立ち上げられました。また、高度な日本語人材を求める日系企業とベトナムの教育機関とをつなぐ上でも重要な役割を担われています。

●また、特に、2003年から2013年にかけて、ベトナム中等教育における日本語教育指導書及び教科書の編纂を主導するとともに、2014年からは、小学校のための日本語教育指導書及び教科書作成にも積極的に取り組んでこられました。実に、2003年からの16年間で、トゥイ先生は、小学校及び中学校の計32冊の教科書等教材の編纂を行われました。ベトナムでは、中学高校の日本語教育(90校、約2万5千人)に加え、この10月からハノイの小学校2校で日本語教育が正式に開始されました。

ベトナムにおける、日本語学習者は、—いまや約17万人です。これは、トゥイ先生が日本語教育研究者としてキャリアを始められた2000年代前半から約10倍の人数となっていますが、これまでのトゥイ先生の貢献は非常に大きなものがあります。

●まさに、トゥイ先生は、ハノイ国家大学外国語大学の日本語教育を発展させるのみならず、ベトナム国家が行う日本語教育事業において、日本語教師養成、教科書編纂、小学校教育開始等を通じて、多大に貢献いただいたと言えます。

●更に、日本語教師不足が深刻化する中、日本政府は国際交流基金と共に、昨年、日本語教師育成強化特別事業を立ち上げましたが、トゥイ先生の全面的ご協力を得ており、心より感謝申し上げます。

●第二の功績は、ベトナム人学生の日本留学促進に尽力いただいていることです。

ベトナム元日本留学生協会は2001年に設立され、トゥイ先生は、2003年から執行委員となり、事務局長、副会長を経て、2013年に会長とされました。トゥイ会長の指導の下、元日本留学生協会は、JASSO(日本学生支援機構)とともに、「日本留学フェア」を毎年主催し、学生や保護者、教育関係者への日本

留学の啓発に尽力いただいています。また、日本政府による国費留学生事業などの各種派遣プログラムでは、優秀な人材選考にも参加いただいています。

●元日本留学生協会が設立された2001年当時、日本におけるベトナム人留学生数は、約900人でしたが、昨年は約8万人の90倍となっており、まさに隔世の感があります。トゥイ先生は、ベトナムを代表する研究者として、日本の多くの大学と共同研究及び協働教育を主導いただくとともに、日本政府事業により設立された「ハノイ国家大学・京都大学協力協同事務所」の共同所長となり（2010-2014）、当時はまだ情報が少なかった日本留学についてベトナムの多くの学生に伝えていただきました。このことはその後の日本留学の大いなる発展に寄与しました。

●更に、日本では、多くのベトナム人学生が真面目に勉学に励んでいます。中には、甘い言葉に騙され、多額の借金を背負って、留学の名の下、就労目的で訪日する若者も少なくありません。

元留学生協会では、トゥイ先生の主導の下、留学前の正しい情報の提供、留学中のフォローなど、若者たちに親身に対応いただいています。

●第三の功績は、ベトナム元日本留学生協会会長はじめとする役職を有し、日越関係の発展に、様々な形の貢献をされていることです。

●トゥイ先生は、2013年ベトナム元日本留学生協会会長に就任以来、会員数1,500名以上の強固なネットワークを強化し、毎年、会員間の結束を高め、日本との交流を強化する活動を展開されています。

●2017年、天皇・皇后両陛下の史上初となるベトナム御訪問に際しては、文廟で両陛下と元留学生協会の会長として懇談され、同協会の活動について説明されました。2017年以降、日越大学の理事としても活躍されています。

●更に、トゥイ先生はASCOJA（アセアン元日本留学生評議会）及びASJAの理事を務め、2015年及び2018年にJASE（日・東南アジア教育国際シンポジウム）をハノイで開催される等、日本とASEANとの関係強化にも貢献いただいています。

表彰伝達理由・功績（勝恵美代表）

●勝 恵美（めぐみ） モアプロダクション代表には、大きな功績が2つあります。

●第一の功績は、ベトナム文化の日本人への発信、日本文化のベトナム人への発信です。

●勝さんは、2003年から10年間、フリーペーパー「スケッチ」のハノイの責任者として、ベトナムに住む日本人に対する「ベトナム文化」の発信に従事されました。その後、ベトナム文化の日本人への発信という観点からは、ベトナム航空の機内誌「ヘリテージ・ジャパン」日本語版制作、日本の代表的ガイドブック「ことりっぷ」や「マップル」のベトナム・コーディネーターを務めておられます。

●また、写真家として、ほぼ毎年ベトナムの風景を扱った写真展を日越双方で開催されています。更に、10月1日から販売が開始されたベトナム料理の本の全ページに勝氏の写真が使われる等、写真を通じてベトナム文化を日本に伝えておられます。

●逆に、日本文化をベトナム人に紹介するために、2016年よりフリーペーパー「アドベンチャー・ジャパン」の制作に貢献されています。

●第二の功績は、ベトナムにおける日本の絵本文化の普及に努め、ベトナム人絵本作家の育成を開始されていることです。

●勝さんは、2013年、親友のヒエンさんと編集プロダクション事業を中心に行うモアプロダクションを設立され、2014年、同社の社会貢献活動として、ヒエンさんの提案により、絵本の読み聞かせ活動を開始さ

れました。

●2017年3月、勝さんとヒエンさんは、天皇皇后両陛下の初のベトナム訪問の際、皇后陛下から絵本普及への激励の言葉を受け、この言葉を推進力に、2017年6月、日本の絵本をベトナム語で出版する「MOGU絵本プロジェクト」を開始されました。これまでに計41作品の絵本が翻訳され、30万部以上出版されています。この背景には、坪井先生のような後押しがあったこと補足させていただきます。

●また、2018年7月、勝さんは、有志の企業・個人とともに「読書の輪を広げる会」を設置し、2018年10月20日、皇后陛下の御誕生日に、イベント「読書の輪を広げる会」を開催されました。このイベントでは、VNSOによる子守歌の演奏、100年後まで残したい絵本3作品の発表に加え、ファン・レー・ファイ先生をはじめとする専門家の協力を得て、皇后陛下の絵本『橋をかける』の越語版の出版発表会も行われました。

●更に、2018年から、ベトナムの絵本作家の育成に向け、JXTGと共にアマチュア絵本作家を対象とする童話コンテスト「童話の花束コンテスト」を開催され、第2回となる今年は来週20日に授賞式が予定されています。コンテストの一環として、日本の著名な絵本作家による講演・ワークショップも開催されており、昨年4月、五味太郎先生、本年5月、長野ヒデ子先生をハノイに招待されました。

●以上、トゥイ先生、勝さんの功績でした。次に日越関係について一言のべます。

今年5月、日本は令和の時代となりました、10月22日天皇陛下の「即位の礼」が行われ、ベトナムからはフック首相が出席されます。ベトナム国会の開会式直後で、とんぼ返りの訪日となります。

●ベトナムと日本は、多くの戦略的利益を共有しており、指導者間には厚い信頼関係、国民間には強い親近感が存在しています。政治、安全保障、経済の各分野で協力は年々拡大していますが、トゥイ先生及び勝さんの推進されている活動は、日越間の国民相互の相互理解を深め、強固な人的絆を築く上で、とても重要です。お二人のこれまでのご貢献に改めて感謝申し上げますと共に、引き続き、健康にご留意いただき、有益な活動を継続いただくことを心よりお願い致します（拍手）。

●最後に、皆様の御健勝、日越両国関係の一層の強化を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。（了）